竹の子まつり

来て見て仲よくして

小規模授産施設と

竹の子

☎64－0881

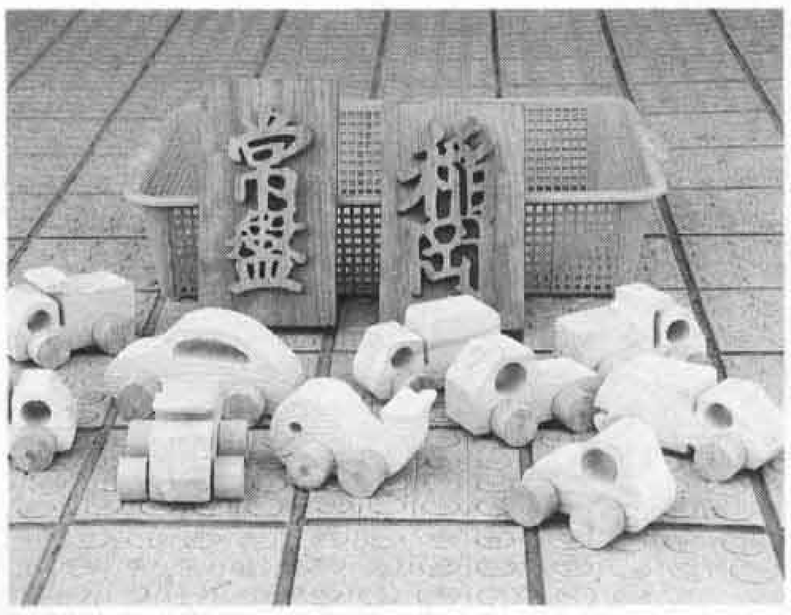
心身に障害を持つ十五歳以上の皆さんが、能力に応じた仕事の訓練をする施設として、富士市障害児(者)を守る会が運営する小規模授産施設があります。その数は現在七つ。八十三人が自宅から通っています。仕事は、買い物袋のひもつけなどの賃加工や、布でつくる花の制作販売など、施設によって特徴があります。

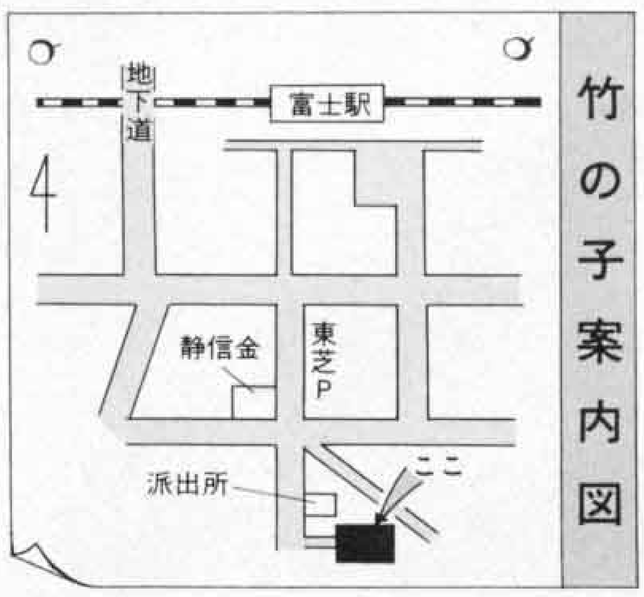
今回は、市民の皆さんの温かい思いやりによって支えられている、七つの小規模授産施設についてお知らせします。

△京花紙の袋詰め

私たち「竹の子」で働いているのは、十九から六十二歳までの男女十七人。うち四人は車いすです。仕事は、京花紙の袋詰めが多いのですが、お祭りの前などは、バザーで売る木製のおもちゃもつくります。人気があって、よく売れるんですよ。

ボランティアの人もよく来てくれて、一緒に仕事をします。きょうは誰が来てくれるかと、楽しみにしています。ぜひ一度、仕事ぶりを見に来てください。


▷木製の表札も、注文でつくります



吉原つくし

☎53－0857

「つくし」の仲間は現在二十人。買い物袋のひもつけと、たこ焼きの箱をつくります。また最近、電気部品の配線も始めました。仕事のほかにも、すぐ隣りの中央町公園の草取り、掃除をします。また花壇に花も植えました。八月四日の日曜日にこの公園で「ふれあいフェスティバル」を開催します。地域の皆さんの協力で、いろいろなお店も出ますので、みんなで遊びに来てください。

公園をきれいにするよ

△きょうは電気部品の配線です

△和紙人形などもつくって売ってます

ふじいずみ

☎51－8924

施設の周りにわき水が多いので「いずみ」と名を付けました。私たちの仲間は、十七から五十六歳までの女性ばかり六人。きんちゃくなどの袋物やエプロンをつくっています。もちろん全部オリジナル。また最近は、針やミシンの使い方も上達し、人形や動物のぬいぐるみもつくり始めました。でも布のサイズを測るのは苦手。どなたか、お手伝いに来ていただけるとうれしいな。それに、不用になった布もいただければ。

ちょっと欲張っちゃったかな。

△縫うのも大分上達しました

◁全員集合

◁袋やエプロンを売ってます

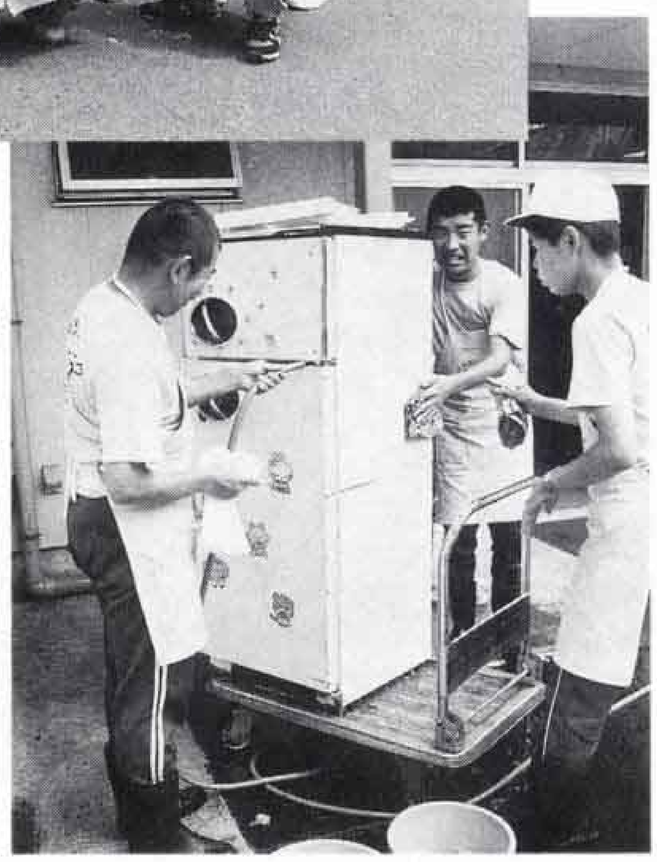
市民ふれあいバンク

☎51－3080

ここには自転車、衣類、本、タンス、冷蔵庫など、たくさんの商品があります。なんでたくさんあるかと言うと、使えるけどいらなくなった品物を、皆さんから寄付してもらっているからです。

私たちの仲間は九人。もらった品物を一生懸命に磨いて、売れるようにします。大変安いので、ブラジルなど外国人のお客さんも増えています。買い物に来たお客さんに、「頑張ってね」なんて言われると、少しはずかしいけれど、うれしいな。

△ジャトコのサッカー選手
タディューさん(後列中央)と一緒に



△水で洗ってきれいにふいて

△棚の上には商品がいっぱい

鷹工社身芸

☎71－0105

「鷹身工芸社」なんてちょっ硬い名前だけど、有線放送を聞いながら歌も歌うし、けっこう楽しみながらやってます。働く仲間十八人。ティッシュペーパーの詰めが主な仕事です。

仕事も楽しいけど、もっと楽しいことがあります。キャンプ、泊旅行など、外へ出かけることボランティアの皆さんが来てくることです。退職した先生や高生、それに岳陽中の生徒も来てれて一緒に仕事をします。皆さも来てくれるといいな。

△写真撮られるのって、少し恥ずかしいな

△きょうは試験的な作業で、プラスチックリングのごみ取り

▽鷹岡市民プラザの売店もやってます

ふれあいショップあゆみ

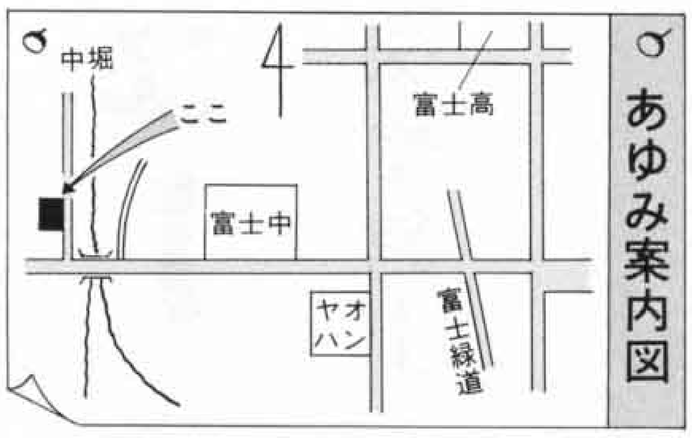
☎64－0694

赤い屋根と白い壁。約五十種の商品が並んでいるのが、私たち六人の通う店「ふれあいショップあゆみ」です。

布でつくる花、古い着物を細く裂き、それで織ったテーブルクロス、また手づくりパンなどをつくり売っています。ほかにも、市内の小規模授産施設の手づくり品を初め、東京や神奈川の施設の商品、市内の画家のパステル画など、いっぱいいっぱい売っています。

お客さんの応対は大変だけど楽しい。大勢の皆さんに来てほしいな。

△買い物に来てくださいね、待ってます



△布の花、つくってもすぐ売れちゃうんだよ

ふじあすなろ

☎21－6776

僕たち男七人が通っているのが「ふじあすなろ」。毎日九時から十六時まで、買い物袋のひもつけや、菓子箱づくりに汗を流します。ひもつけは、全員で頑張っても一日千袋がやっと。仕事の手伝いや、僕らの話し相手になってくれる人がいるといいなと思います。

楽しみは給料日。それに誕生会や家族と一緒に一泊で行く社会見学。昨年は熱海に行ってきました。今年はどこへ行けるか楽しみです。

△金具で袋のひもを止めるんだよ

△作業所の前でピース・ピース

地域福祉の核に

富士市心身障害児(者)を守る会
会長　斉藤保春さん
（五貫島）

小規模授産施設の第一号は、吉原つくし。十二年前のことです。福祉施設は、地域の人たちにかかわってもらうことで、地域福祉の核に育つんだと思っています。そのためにもぜひ一度、施設を訪問して手を出してほしいですね。最近はNTT、東電など、会社ぐるみのボランティアも来てくれますよ。

問い合わせ	直接各施設又は障害福祉課へ　内線2323